

平成20年度当初予算案の概要

未来に向け活力ある愛知づくり



平成20年2月7日
愛知 県

1. 平成20年度予算の背景

日本に漂う不透明感

- ・ 実感なき景気回復
- ・ 原油、原材料価格の高騰
- ・ 少子化と高齢化の同時進行
- ・ 大地震など自然災害への不安
- ・ 第二期地方分権改革のつまずき
- ・ 都市と地方など格差の拡大



愛知県の進むべき方向

- ・ 「政策の指針」「ロードマップ208」による地域づくりの加速
- ・ 県民の皆様の日々の暮らしへのきめ細やかな対応
- ・ 真の地方分権型社会の実現
- ・ 確かな財政基盤の確立

2. 愛知県の進むべき方向への着実な対応

県民の安心・安全の確保

地域活力の維持・向上

2010年に向けた
主要プロジェクトの推進

財政健全化の推進・安定的な財政運営の確保

予算のポイント 県民の安心・安全の確保(その1)

1 少子化対策

子ども医療助成の拡大 通院: 4歳未満児 小学校入学前
全国トップレベル 入院: // 中学校卒業

病児・病後児保育への支援を開始

県独自の一般不妊治療費への助成継続 **全国トップレベル**

第三子以降児保育料無料化の継続実施 **全国トップレベル**

2 周産期医療対策

コロニー中央病院 産科(4床)を開設 母体搬送を開始

名古屋第一赤十字病院周産期医療部門施設・設備整備への助成

3 高齢者対策

後期高齢者医療制度の円滑な運営

4 障害者医療の拡充

精神障害者の精神科医療費を新たに助成

予算のポイント 県民の安心・安全の確保(その2)

5 医師確保対策

勤務医の負担軽減のために交代勤務制等を導入する病院への支援
医師確保のための修学資金貸付金の創設

6 健康長寿あいちの推進

全世代にわたるメタボリックシンドローム対策の開始 **全国初**

7 自殺・ひきこもり対策

地域の実情に応じた自殺防止地域力強化事業を開始
かかりつけ医の専門研修によるうつ病の早期発見・治療

8 交通安全対策・・・交通事故死者数の4年連続減をめざして

「ストップ・ザ・ワースト無事故・無違反ラリー」の実施
高齢者世帯(40万世帯)への訪問、高齢者交通安全体験教室の実施
信号機のLED化、見通しの悪い交差点の改良など

予算のポイント

県民の安心・安全の確保(その3)

- 9 地域防犯県づくり・・・刑法犯認知件数を毎年1万件以上減少
3か年の緊急戦略の最終年
県民事務所等での地域の実情に合った啓発キャンペーン等の実施
犯罪弱者対策推進事業を開始
- 10 田原警察署の整備
改築に併せて、運転免許更新窓口を設置
- 11 地震・防災対策・・・平成26年度までに死者数及び経済被害額を半減
「第2次あいち地震対策アクションプラン」の推進
県民事務所に災害対策本部方面本部を設置
民間住宅耐震診断 木造住宅の概算耐震工事費の積算費を新たに
助成
民間保育所・私立幼稚園の耐震診断・改修への助成を拡充

予算のポイント

地域活力の維持・向上(その1)

- 1 少人数学級の拡充
小学校1年生 小学校1、2年生
- 2 「あいち・出会いと体験の道場」の拡充
全中学校で実施
- 3 高度先端産業立地促進補助金の見直し
対象分野の拡大 現行の6分野に先端素材分野を追加
交付要件の緩和 中小企業の最低投資額の引き下げ、
土地取得要件の廃止 等
- 4 航空宇宙産業研究開発施設用地の購入
環境適応型高性能小型航空機(国産ジェット旅客機)研究開発への支援
(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)の飛行研究施設の誘致
- 5 原油・原材料等の高騰対策
中小企業者への制度融資 原油・原材料高対応資金の新設
農林水産業用の原油・飼料高騰対策の拡充

予算のポイント

地域活力の維持・向上(その2)

- 6 中部国際空港二本目滑走路の実現に向けた取組
総合物流対策調査・検討
新規路線開設・既存路線拡充に向けたエアポートセールス
- 7 設楽ダム建設の促進
移転地対策の地元調整・調査
水源地域対策特別措置法の整備計画案の策定
- 8 「あいち森と緑づくり」の推進
新税の円滑な導入に向けた普及啓発
モデル事業の実施 森林・里山林の整備、都市の緑の保全
緑の環境学習の推進
- 9 山間地域の振興
山村振興ビジョンの策定
小規模集落支援モデル事業の実施
山村地域農作物鳥獣被害防止事業の実施
山間地域救急搬送ヘリポート整備・AED整備への助成

予算のポイント

地域活力の維持・向上(その3)

- 10 再生資源活用審査の実施 **全国初**
産業廃棄物等から製造された再生品の環境安全性の確認制度
- 11 エコモビリティライフ(環境に配慮した交通行動)の推進 **全国初**
エコモビリティライフの機運醸成
意識啓発
- 12 アジア経済連携の推進
江蘇省、ベトナムに進出企業の相談窓口となるサポートデスクを設置
- 13 ブラジルとの友好の推進
日本人ブラジル移住百周年、ブラジル愛知県人会50周年記念事業
- 14 「県政お届け講座」の開始
約100テーマを設定 県職員が、直接、出向いて県政情報をお届け

予算のポイント

2010年(マイルストーン年)に向けた主要プロジェクトの推進

- 1 **生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)** 2010年開催
本年5月ドイツ・ボン(COP9)で開催地決定 **日本初開催**
誘致委員会による活動、支援実行委員会(仮称)の立ち上げ
- 2 **国際芸術祭 芸文センターを拠点** 2010年秋開催
実行委員会の運営、芸術監督の選任、実施計画の策定
- 3 「**知の拠点**」 先導的中核施設 2010年供用開始
先導的中核施設の実施設計
産学官による小型シンクロトン光利用施設の整備に向けた取組
- 4 **愛・地球博記念公園 アイデアの広場** 2010年供用開始
「地球市民交流センター」整備に着手
- 5 **衣浦港3号地広域廃棄物最終処分場** 2010年供用開始
事業主体アセックによる埋立用護岸工事が本格化

財政健全化の推進・安定的な財政運営の確保

法人事業税の一部国税化

- ・ 平成21年度から始まる影響 平年度433億円の減収(試算)
- ・ 行政水準の低下、県民生活への影響を極力回避
- ・ 国に対して、引き続き影響額の圧縮を強く求めていく

19年度の税込増などを活用した21年度以降の減収への「備え」

財政調整基金積立 200億円

影響額の約半分

減債基金任意積立 370億円

高い水準にある公債費の償還負担対策

(21年度以降の公債費の定時償還等の財源に充てる)

3. 予算の規模

一般会計 2兆2,543億円 (対前年度比100.4%)

4. 歳入の概要

・ 県 税	1兆3,600億円 [103.7%]
・ 県 債	2,175億円 [94.8%]
・ 交付税	0億円 []

過去最高
（19年度最終比）
452億円
96.8%

5年連続の減

引き続き不交
付団体の見込
み

5. 歳出の概要

(義務的経費)

・人件費	7,722億円	[100.3%]
・扶助費	1,770億円	[104.3%]
・公債費	2,647億円	[104.1%]

団塊世代の退職手当の増

子ども医療・障害者医療の拡充、高齢化の進展による自然増等

19年度2月補正で減債基金への積立を前倒し

・投資的経費	3,062億円	[100.0%]
補助	1,539億円	[102.1%]
単独	1,523億円	[97.9%]

国の公共事業の積極確保

安心・安全、地域の活力につながる所要額を確保

6. 財政の健全化

	19年度	20年度
・プライマリー・バランス	162億円	+218億円

当初目標を2年前倒して黒字化を達成

・県債依存度	10.2%	9.6%
--------	-------	------

一桁台は16年ぶり

・ // (臨時財政対策債除き)

	7.7%	7.2%
--	------	------

「あいち行革大綱2005」 22年度までに6%台へ

A light blue map of Aichi Prefecture, Japan, with a black outline and a grey drop shadow. The text is centered over the map.

未来に向け
活力ある愛知づくり